

第1学年図画工作科学習指導案

場 所 若草ホール

児 童 1年2組28名(男子13名 女子15名)

指導者 T1 赤澤 恵美 T2 岩淵 浩敬

1 題材名 あっ みつけた ― 絵 ―

2 題材について

(1) 題材について

本題材は、学習指導要領の第1学年及び第2学年の目標(2)「造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、体全体の感覚や技能などを働かせるようにする。」を主なねらいとし、指導内容A表現(2)のア「感じたことや想像したことから、表したいことを見つけて表すこと。」イ「好きな色を選んだり、いろいろな形をつくって楽しんだりしながら表すこと。」ウ「身近な材料や扱いやすい用具を手を働かせて使うとともに、表し方を考えて表すこと。」に基づいて設定した題材である。

本題材では、子どもたちが自由に紙をちぎったり切り取ったりしてできた偶然の形を基に、形の特徴をとらえて何かに見立て、さらに想像をふくらませながら描き加えたり、他の形の紙を付け足したりしながら自分の思いを表現する。見立てをきっかけに楽しみながらイメージを広げ、絵に表していく活動である。

(2) 児童について

「何の学習が好き？」とたずねると「図工！」と答えるくらい図工の時間が好きで、授業にかかわらず時間があると絵を描いたり折り紙をしたりする子が多い。また、友達と行う活動を好み、友達の考えややり方を温かい雰囲気を受け入れる姿も見られる。しかし、中には表したいことがなかなか見付からず活動を始められない子や、決まった形や色、特定のキャラクターなどに偏り、表現に広がりをもてない子もいる。

1学期の学習「すきなもののいっぱい」では、自分の好きなものを思い付いてどんどん描く子と、周りの友達の活動を見ながら思い付いたりまねたりする子と半々ぐらいであったが、「クルクルぐる〜」では、自由な線でのびのびと自分の描きたいように筆を動かす子が多く、自分の描いた線や色の美しさに満足していた。また、「きれいな色だね。」「すてきな模様」など自然に声をかける姿も見られた。しかし、描いた線から想像をふくらませ描き足したり、どんなことを表したか伝えたりする場面では、思いを引き出していかないと難しい子もいた。

これまで図工や他教科、様々な活動を通して、お互いの作品や学習の様子を話したり聞いたりする交流を少しずつ行ってきた。友達と話し合う楽しさや新しい発見や見方に気付く場面も増えてきている。また、交流を通して、自分の表現に自信をもったり、友達の表現を参考にしたりして、自分の活動につなげようとする姿も見られる。まだまだ経験は少ないのだが、表現する楽しさを感じ始めているところである。

(3) 指導に当たって

本題材は、自分の発想に自信をもてず、なかなか表現できない子や表現に広がりをもてない子が、形を手がかりに想像をふくらませて表したいものを思い描けるようになってほしいと考えたものである。

まず、自分の表すものを決定する前に、材料とふれ合ったり友達とかかわったりして遊びながらイメージを広げ、自分なりの表し方を見付ける手掛かりとしていく。その際、形や色にこだわりながら自分なりの思いを表現させていく。また、いろいろな角度から形を見つめることで、様々なとらえ方ができることに気付かせ、自由な発想を引き出すようにしていく。

そのため、次のことに留意し指導を進めていきたい。

① 交流・活用

- ア 切り取った形やできあがった作品について、友達と楽しく交流し、その発想を共有する。
形を見立て、思ったことを友達と伝え合うことで自分の思いを明確にしたり、発想をふくらませたりしていく。そのための手だてとして「みてみてタイム」（みてみてクイズ）を設定し、ペアやグループでの話し合いを位置付ける。（交流）
- イ これまでの経験を基に、自由な発想で形や絵の場面を見立てる。
形を見立てるときには、自分の感覚やこれまでの経験を生かしながら、形の全体や部分に着目させる。絵の場面を考えるときには、数種類の色画用紙から自分の場面に合ったものを選び、自分の思いを表現できるようにしていく。（活用）

② 形態

- 次のようなねらいにより、本題材は主にT Tによる一斉指導の形態をとる。
- ア 児童の活動中の発話を聞き取り、造形活動を意味付け、全体に広げる。
- イ 児童から新たな発想を引き出す。
- ウ 表現が難しい児童への細やかな支援を行う。

3 題材の目標と評価規準

(1) 題材の目標

切り取った紙の形から思いをふくらませ、楽しくのびのびと絵に表す。

(2) 題材の評価規準

造形への関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
・切り取った紙の形から感じたり想像したりしたことを絵に表す活動を楽しんでいる。	・紙を切り取り生まれた形を基に、表したいことを見付けている。	・クレパスやペンなどを使いながら描き足したり、紙片を付け加えたりしながら、表し方を工夫している。	・感じたことを話し合い、形や色、イメージの面白さや表し方の工夫に気付いている。

4 準備

画用紙、色画用紙、包装紙、色上質紙
はさみ、のり、クレパス、カラーペン

5 題材の指導計画（3時間）

（◎全員の評価の機会とする観点 ○補完する評価の機会とする観点）

時数	目標	学習活動	評価規準（評価方法）	形態
1 本時	紙を切り取り生まれた形を基に、表したいことを見付けることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 紙を切り取る。（15分） 手、指を使って紙をちぎり、多様な形を切り取る。 形を見立てる。（20分） 切り取った形に着目し、どんなものに見えるか「みてみてクイズ」で話し合い、イメージを広げる。 見立てたものを表す。 （10分） 切り取った形を基に見立てたものを描き表す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関 切り取った紙の形に関心を持ち、感じたり想像したりする活動を楽しんでいる。 （行動観察、発話） ◎ 発 紙を切り取って生まれた形を基にして、表したいことを見付けている。 （行動観察、発話、作品） 	1 C 2 T T T
2	想像をふくらませ、自分の思いを表していく。	<ul style="list-style-type: none"> 付け加える。（60分） 自分の思いがふくらむよう、描き足したり付け加えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関 切り取った紙の形から感じたり想像したりしたことを絵に表す活動を楽しんでいる。 （行動観察、発話、作品） ◎ 創 クレパスやペンなどで描き足したり、紙片を付け加えたりしながら、表し方を工夫している。 （表現、発話、作品） 	1 C 2 T T T
3	感じたことを話し合い、形や色、イメージの面白さや表現の工夫に気付く。	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞する。（30分） 「みてみてタイム」でできあがった作品の気に入っているところや考えたこと、友達の作品の素敵などころを発表し、伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 鑑 感じたことを話し合い、作品の形や色、イメージの面白さや表し方の工夫に気付いている。 （発表、行動観察、学習シート） 	1 C 2 T T T

6 本時の指導

(1) 目標

紙を切り取り生まれた形を基に、表したいことを見付けることができる。

(2) 指導に当たって

本時は、紙を切り取り偶然できた形を見立て、新たな表現へ発想していく場面である。紙を切り取る時は、多様な形が生まれるように言葉がけをしていく。交流の場面として「みてみてクイズ」を設定し、形の特徴に着目させながら自分の見立てた形をより明確にしたり、友達の考えを生かして次の表現の参考にしたりしながらイメージを広げ、発想・構想をふくらませる場としていく。そのために、ペアやグループの活動を中心とし、相互にかかわり合いながら自分や友達の発想のよさが感じられるようにしていく。

(3) 評価規準（発想・構想の能力）

評価規準（評価方法）	B おおむね満足できる	C 支援が必要な子への手立て
紙を切り取り生まれた形を基にして、表したいことを見付けている。 (行動観察, 発話, 作品)	自分が見立てた形について、友達と話し合ったり、自分で考えたりしながら、描きたいことを見つけている。	動物, 植物, 物など具体的な言葉から発想を引き出し, 表現するよう促していく。

(4) 展開

段階	学習活動	教師の働きかけと予想される反応		留意点 (◆研究の重点)
		T 1	T 2	
とらえる 10分	1 学習活動と出会う。 ・全員で一緒にちぎり、指の使い方を確認する。	○指のおさんぽ（紙をちぎる）をやってみせ、活動への意欲を高める。 ・楽しそう。 ・やってみたいな。 ゆびゆびたんけんたい ○黒板に提示 ・くねくねみちだよ。 ・こっちにまがろう。	○難しそうにしている子のサポート	◆教師がそれぞれ紙をちぎり、できた形の面白さに気付かせることで、活動に誘う。(活用)
あらわす	2 表現する。 〈造形活動〉 ・紙を選び、切り取る。 ・形に注目する。	○好きな紙を選べることや1枚終わってから次の紙を持ってくることを知らせる。 ○机間巡視をしながら、どんな道をさんぽしているか話を聞く。 ○発想を引き出す。 ・～みたい。 ・～の形にも見えるよ。	○紙コーナーの補助 ○切り取った形を見せる。	・発話を聞きながら、ちぎり方の工夫や多様な形を取り上げる。 ・様々な角度から形を見ることを促し、試行錯誤させる。 ・生活科の観察はかせの経験を生かすようにする。

33分	<p>3 課題を確認する。</p> <p style="text-align: center;">ゆびゆびたんけんたい あっ み～つけた！</p> <p>4 交流する。 〈言語活動〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みてみてクイズ (ペア→グループ) <p>5 表現を深める。 〈造形活動〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切り取った形からイメージをふくらませて描き足す。 	<p>○やり方を知らせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>☆みてみてクイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これな～んだ？ 「・・・かな？」 ・これは○○でした。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・どうしてそう思ったの？ だって、ここがこんな形だからだよ。 ・ぼくは○○みたいと思うけどどう？ わたしもそう思うよ。 ぼくには・・・に見えるよ。 ここの形が～～みたいじゃない。 	<p>○やってみせる。</p> <p>○見立てた形がより分かる、楽しくなる工夫を促す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の感覚や活動を通して形をとらえ、自分のイメージをもたせる。 ◆「どうして？」 「だって」など相手との話し合いをつなぐ言葉を大切にする。 (交流) ◆交流することで思いが明確になるよう、友達の考えも参考にできるようにさせる。 (交流・活用) <p>評 紙を切り取り生まれた形を基にして、表したいことを見付けている。 (行動観察、発話、作品)</p>
まとめる 2分	<p>6 学習を振り返る。</p>	<p>○形を見立てたこと、自分や友達の活動について感じたことを伝えさせる。</p> <p>○次時の活動を伝え、意欲付ける。</p>	<p>○形の特徴をとらえ、それに合った表現をしている子を取り上げ、紹介する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに工夫を加えながら、自分の思いを込めた絵を完成することを伝える。